

研究支援員制度

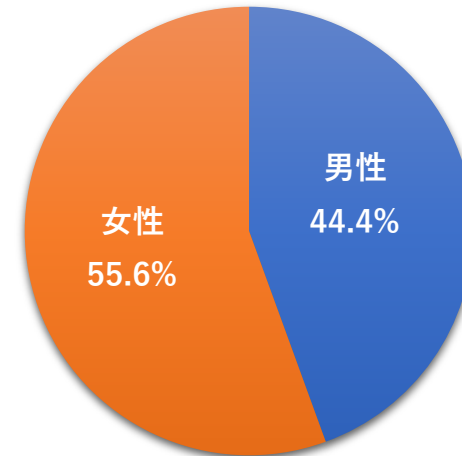
妊娠、出産、育児、介護等のライフイベントにより、研究時間を十分に確保できない常勤の研究者（男女とも）を支援するため、大学院生などを研究支援員として雇用し、配置する制度です。

■ 利用理由

- 子供の送迎等により、研究時間が十分にとれない。
- 子育てと介護のダブルケアにより、研究時間が十分にとれない。
- 子どもの養育のため、まとまった研究時間が確保できない。



利用者の男女比
(2021年度秋学期実績より)



■支援内容

- 資料作成・整理。
- 文献検索・整理。
- データ入力・解析。
- 実験機器の運搬補助・実験補助。
- 研究室の学部生への指導。
- テープ起こし。



研究者1名あたりの配置時間：最大100時間。
(令和3年度春学期・秋学期実績のため、変動する可能性があります。)



■利用者の声

- 限られた研究時間を有効に使うのに、大変役に立ちました。
- 支援内容は比較的単純な作業に留まったが、こちらの負担はかなり軽減したので助かりました。
- 研究補助員の活躍により、申請者は論文の執筆や申請書の作成に集中することができました。
- 研究と家庭生活の両立をするために大変に役に立ちました。

